

1年生性教育講話

日時：平成30年11月16日（金）7限目
場所：小松高校 視聴覚室
演題：「大切なあなたのことを話そう」
講師：まき助産院 助産師 川島 真希 氏

白山市で助産院を開いている川島先生をお招きして、性教育講話が開かれました。

「あなたの性は何ですか？」の問いから始まり、男女別の性の悩みや妊娠、性感染症などについてのお話をうかがいました。



性に関する話題はなかなか公に話せないものですが、今回の講話をお聞きし、生徒たちは自分のこととして考え、正確な知識や対応の仕方を学ぶことができました。

また「誰を好きになってもいい。誰も好きじゃなくてもいい。自分の気持ちを大事にしよう」「何でも話せる信頼できる人を3人見つけよう」「毎日がんばって生きている自分を認めてあげよう」「さみしくなったらおへそを見よう」など、心に響くキーワードをたくさんいただき、自分を大切に思う気持ちと尊重しあえる人間関係づくりの大切さへの理解がより深まったように思います。積極的に講話を聞いていた生徒の皆さんの姿が印象的でした。

生徒の皆さんの感想を一部ですがご紹介します。

講話を聞いて最も印象に残っているのは「あなたが誰かと繋がっていた証がしっかりと残っている」という言葉です。これから先、生きていくなかで結婚するかもしれないし、子供もできるかもしれない、もしかしたらたった一人で生きているかもしれないけど、常に自分は誰かと繋がっているという意識があれば、強く生きていける気がします。また、それは自分だけの話ではなくて周囲の人も同じで繋がっているのだから、その繋がった先の人が悲しまないように周囲の人も大切にし、たった一つ奇跡の積み重ねで生まれてきた命が失われることのないようにサポートできる身になれば良いなと思います。

今回のお話を聞いて、自分を大切にしなければならぬ！と改めて思いました。普段は「恥ずかしい」とかで片付けてしまいがちだけど、いやいや自分の健康や人生に深くかかわる問題なのだとわかりました。そんな重要な問題から今まで目を背けてきたのは良くなかった！今日、川島さんが「真面目」にお話ししてくださったことで、重要なことに気づくことができました。ありがとうございました。また、最後の「学校に毎日通っているみんなは偉い」「自分を認めてあげよう」という言葉が心に残りました。毎日やることに追われすぎていて目的を見失うこともあるけど、頑張っていないわけじゃない。何もしていないわけじゃない。そう思えて、また今日から頑張ろうと思えました。

命の大切さを改めて知ることができました。また、自分のことを大切に思ってくれる大人の方は周りにいると川島さんが言っていた言葉がとても印象に残りました。女子の説明だけでなく、男子のことも聞くのは、自分にとって大変でした。でも、これから大人になっていくので、異性のこともちゃんと知る必要があることを学びました。私には悩みがあったけど、この講話を聞いて、少し心が軽くなりました。もし自分の体に何かあったら、ためらわず母に相談したいと思いました。

「だれを好きになっても、だれも好きじゃなくてもいい。それがわたしだ」
って言葉が、今日の授業でとても印象に残りました。その言葉を聞いていちばん驚いたのが「だれも好きじゃなくてもいい」というところです。確かにだれも好きじゃない人もいるんだと気づかされました。固定観念にとらわれないのが大切だと思いました。

これからのことに役立つ話を聞けてとてもよい経験になりました。一人一人違い、悩むこともあるけれど、気にしなくてもよいとわかりました。責任のとれないことはしてはいけないと改めて感じることができました。自分のことを大切にしなければならないので、私もパートナーとの性行為など、よく考えて行動しなければいけないと思いました。相手のことも大切にして、良いお付き合いをしていきたいと思います。ダメなこと、嫌なことをそのパートナーに言えるようになりたいです。

自分のことだけでなく、自分と相手どちらのことも考え、正しい行動をすることが大切なんだと思いました。中学校の時にも聞いた話があり、一年たった今、思うことがちょっと変わっていて、成長するごとに自分の価値観も変わるのだということがわかりました。今、半分大人で半分子どものようなものなので、今後成長していくときに必要になるかもしれないので忘れないでおきたいです。

私は自分がバイセクシャルかもしれないと思ったことがありました。理由は、中学生の時に同級生の男子にも女子にも好きな人がいたからです。どちらに対しても恋愛感情を含めた意味での「好き」だったかは、今ではわかりませんが、今日の話聞いて、どっちでも大丈夫なんだと思いました。相手が異性であれ同性であれ、自分と相手が互いに同じ思いならそれでいいんだと思いました。

改めて、将来を見つめ直すことができました。「自分が頼れる人は？」と問われたときに、本当にまじめに相談できる友達は3人以上、一緒にいて楽しい人、大切な人・・・と考えていくと数えきれないほど思い浮かんできたので、自分は幸せ者だと思いました。大切な人、頼れる3人の人に出会うことができるために、自分が友達と楽しく過ごし、バカ話をしながらも相談事があるならば一緒に考える、そんな存在になりたいです。川島さんの「私を頼って！」という力強くヒーローのような姿に心を打たれました。

普段はなかなか聞けないようなことを知れて、正しい知識を持つことはとても大切なんだなと思いました。川島さんの「あなたは大切な存在だから、自分を大切にしてください」というメッセージがとても心に残りました。妊娠や出産は、親になりたいと思ったら避けて通れない道なので、将来はパートナーとたくさん相談して赤ちゃんを迎えなければならないなと思いました。また、世界にはLGBTの方など、いろいろな人もいますので、相手を傷つけないよう行動して「普通」を決めつけないようにしたいです。

